

物流の「現場」を支えるBCP

(事業継続計画)を考える

～防災の日を控えて～

BCP(事業継続計画)については一般に、在庫の積増し、部品の汎用化など自社に関わるサプライチェーン全体の維持に関するものと、工場・倉庫等の現場の維持・復旧に関するものに分けられると思います。本講座では後者について、特に物流の現場を災害時に支えるBCPを取り上げます。

東日本大震災を契機にBCPへの関心が高まり、平時においても顧客との取引継続のためにBCPの策定が必要になっているという声が聞かれます。

地震発生や火山噴火のリスクが叫ばれる中、年に一度の防災の日を控え、本講座を災害対策について考える契機としていただければと思います。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日程・場所

・2015年8月31日(月) 13:00～17:30

(受付 12:30～)

・日本通運本社ビル 4階 会議室C

東京都港区東新橋1-9-3

◆是非、ご参加ください◆

- ・ 荷主企業、物流企業で戦略、現場オペレーション、総務管理に携わる方
- ・ 本テーマに関心をお持ちの方

参加料金

・22,000円(税込)

定員50名(最小開催人数20名)

- ・定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。
- ・参加料金は開催日前日までにお振込みください。
- ・振込み手数料はお客様ご負担とさせていただきます。

◆キャンセル規定◆

キャンセルの場合は、8月21日18時までに事務局にご連絡下さい。それ以降のキャンセルは下記キャンセル料を申し受けます。

- ・8月24日～27日:参加料の30%
- ・8月28日及び8月31日:参加料の全額

お申込みは弊社Webサイトから

www.nittsu-soken.co.jp/seminar

弊社Webサイトからエントリーを行ってください。
エントリー受付後、セミナーの参加証、および請求書を郵送いたします。

カリキュラム

13:00 ~ 13:05

オリエンテーション

13:05 ~ 14:20

1、「実戦的」BCPの作成における(忘れられがちな)ポイント

- ①トイレ対策は全てのBCPの土台でありスタート
- ②最新のものが常に最善とは限らない
- ③メンタルケアにも十分な配慮を

14:30 ~ 15:50

2、備蓄の科学～「データ主義」でより良い備蓄を実現する～

- ①「何を」備蓄するか ～過去災害で蓄積された知恵に学ぶ～
- ②「どれだけ」備蓄するか ～必要数量原単位の設定例～
- ③「どこに」備蓄するか ～保管面積原単位の設定例(スペースを取る2大品目とは)～

16:00 ~ 17:15

3、とりあえずBCPを形にしてみる

～「書き込むだけでBCPが作成できる様式集」は本当に「書き込むだけでBCPが作成できる」のか？～

- ①BCPを構成する2つの基本要素 ～「本文」と「別紙」～
- ②既存のBCP様式集をどう活用するか ～「文例集」と「表」を分ける～
- ③最初から完璧を目指さない ～優先度の高いBCP項目とは～

17:15 ~ 17:30

質疑応答

※カリキュラムは変更になることがございますので、あらかじめご了承ください。

講師プロフィール



矢野 裕之(やの ひろゆき)

株式会社日通総合研究所 教育コンサルティング部 シニア・コンサルタント

1990年(株)日通総合研究所入社。新潟県中越地震の発災等を機に、災害時の物資供給に関する検討を防災分野の研究者と共同で行うようになり、東日本大震災発災時には被災地自治体の災害対策本部で支援物資ロジスティクスに関するアドバイス等を行った。また災害時における物流事業者の対応に関する調査等も行っており、その知見を活かして、BCPマニュアル作成業務やBCP作成のポイントに関する講演などを多数行ってきている。

日通総合研究所のプロフィール



1961年(昭和36年)創立の物流・ロジスティクスに関わる総合シンクタンク。高い専門性、豊富な経験、独自のノウハウで、物流・ロジスティクスに関する研究、調査、コンサルテーションを行っている。また、近年は、物流・ロジスティクスに関わる人材の育成・教育事業に力を入れている。

株式会社 日通総合研究所

〒105-8322 東京都港区東新橋1-9-3

TEL:03-6251-3279 FAX:03-6251-6450

事務局担当: 山内